



報道発表資料

2015年2月12日
インフォテリア株式会社

データ連携ミドルウェア「ASTERIA WARP」の 最新バージョンを発表

～ クラウドとオンプレミスの「共存”協”栄」で攻めのITを促進するデータ連携を ～

インフォテリア株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:平野洋一郎、証券コード:3853、以下、インフォテリア)は、8年連続企業向けデータ連携製品市場シェア No.1*1を獲得している ASTERIA シリーズ「ASTERIA WARP」(アステリア ワープ)の最新バージョン「ASTERIA WARP 4.9」を2015年3月10日より出荷を開始します。

また、インフォテリアでは、本製品の出荷に先立ち、ASTERIA WARP 最新バージョンの紹介を兼ねた2月18日「ASTERIA Cloud Conference」を開催します。

→<https://event.infoteria.com/jp/event/e150218/>

企業内外に存在する様々なデータと最新技術を活用し、業務効率の向上や経営の最適化につなげることは今やどのような業種、企業規模に関わらずビジネスの最優先事項となっています。ASTERIA WARP 最新バージョンのテーマは「共存”協”栄」～共に在り、力を合わせて栄える～です。(1)最新クラウドシステムと既存システムの共存”協”栄、(2)現場部門とIT部門の共存”協”栄、(3)ユーザー企業とシステムプロバイダーの共存”協”栄を促進することを目指しました。その実現のために、以下の3つの柱の軸に機能強化が図られています。

■クラウドサービス新対応

- ・ Amazon Redshift (アマゾン レッドシフト) コンポーネントの追加
- ・ kintone (キントーン) アダプタの追加 など

■使い勝手の向上

- ・ AWS (Amazon Web Services) とのデータ連携の使い勝手向上
- ・ Notes とのデータ連携の使い勝手の向上 など

■ユーザーリクエストへの対応

- ・ Excel アダプタ機能改善
- ・ TarFile/UntarFile コンポーネント追加
- ・ ExifGet コンポーネント追加 など

ASTERIA WARP の最新バージョンは、Standard Edition が 480 万円（税別）、Enterprise Edition が 600 万円（税別）、サブスクリプション版が月額 24 万円（税別）で、ASTERIA マスターパートナーを通じて提供されます。

インフォテリアは企業におけるデータ連携技術を基に、企業価値の向上を支援するソフトウェアを提供して参ります。

■ASTERIA WARP とは

ASTERIA WARP は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンプログラミングで連携できるミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価され、4,600 社以上の企業に導入されています。また、企業向けデータ連携製品（EAI/ESB 製品）の国内市場において 8 年連続市場シェア No.1^{*2} を獲得しています。

→<http://www.infoteria.com/jp/warp/>

■ASTERIA Cloud Conference 開催について

2 月 18 日に開催される「ASTERIA Cloud Conference」にて、ASTERIA WARP 4.9 の情報を含め、ASTERIA WARP の目指す先にある未来について、代表取締役の平野洋一郎より講演がごさいます。

→<https://event.infoteria.com/jp/event/e150218/>

※1：ソフトウェアのカテゴリにおいて、EAI(Enterprise Application Integration)製品および、ESB(Enterprise Service Bus)製品

※2：テクノ・システム・リサーチ「2013～2014 年ソフトウェアマーケティング総覧」

※「Infoteria」 および「インフォテリア」は、インフォテリア株式会社の商標です。

※ 本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

■インフォテリア株式会社について

1998 年に国内初の XML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 4,633 社（2014 年 9 月末現在）の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、現在 736 件（2014 年 9 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

→ <http://www.infoteria.com/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

インフォテリア株式会社 マーケティング本部

広報担当：堀野 史郎

TEL:03-5718-1297 FAX:03-5718-1261

E-mail: press@infoteria.com

■製品に関するお問い合わせ先

インフォテリア株式会社 マーケティング本部プロダクトマーケティング部

製品担当：森 一弥

TEL: 0120-279-140

E-mail: pm@infoteria.com

■ 本プレスリリースの掲載 URL

http://www.infoteria.com/jp/news/press/2015/02/12_01.php

別紙: 《ASTERIA WARP 4.9 新機能概要》

■クラウドサービス新対応

- ・ Amazon Redshift (アマゾン レッドシフト) コンポーネント:

Amazon Web Services (AWS)のデータ分析基盤「Amazon Redshift」との連携機能(専用コンポーネント)を通じ、社内システムや業務プロセスを変更することなく、社内システムと Amazon Redshift 間でデータ運用・管理(アップロード、更新など)、またデータ分析・活用をシームレスかつ効率的に実現できます。

- ・ kintone (キントーン) アダプタ:

サイボウズの「kintone」との連携機能(専用アダプタ)を通じ、グラフィカルな画面操作のみで、既存システムのデータを「kintone」に流し込んだり、「kintone」外から「kintone」の情報にアクセスしたり、入出力を自動化することが可能となります。これによって、kintone が社内の既存システムとの連携することで、社内システムのモバイル対応のような高度なシステムを短期で構築が実現できます。

■ユーザービリティの向上

- ・ AWS (Amazon Web Services) アダプタ:

上記 Redshift コンポーネントを含む AWS アダプタは、S3 などの既存の各種画面を一新。より直感的に使いやすく改良しました。お客様は AWS 特有の API などを意識すること無く最新の機能を使った企業システムの構築を行うことができます。

- ・ Notes アダプタ:

アダプタ画面を一新し、Notes の項目を選択するだけで連携対象を選択することができるようになりました。既存の社内システムとして広く採用されている Notes の資産を様々な場面で活用することができます。

- ・ Check Point 統計機能:

ASTERIA WARP4.7 から提供しているチェックポイント機能へ、フローの実行状況をビジュアルで分かり易くする機能を追加しました。

■ユーザーリクエストへの対応

- ・ Excel アダプタ機能改善:

Excel ファイルとのデータ連携を実現し、文字色や背景色等、スタイル要素の操作も可能な Excel アダプタについて、データ内容に基づいた罫線の対応などお客様からのリクエストに対し対応いたしました。

- ・ Active Directory アダプタ機能改善:

RecordJoin、RecordSort、RecordSQL コンポーネントを追加しました。

- ・ 新規コンポーネント

ファイルのアーカイブ形式である Tar 形式に対応した TarFile/UntarFile コンポーネント、画像のメタデータ形式である Exif 情報を取得する ExifGet コンポーネントを追加しました。

■新規対応するサポートプラットフォーム

- ・対応オペレーティングシステム

Ubuntu 14.04 TLS

CentOS 7

- ・DB その他

Java SE 8u31 にアップデート

PostgreSQL 9.4

Dr.SumEA 4.0 SP1

IBM MQ 7.1/7.5/8.0

AWS Directory Service

SOAP1.2

SAP アダプタの IDoc/ALE 連携 (SCSK 開発アダプタ)

※詳細は以下の動作環境サイトをご確認ください。

→ <http://www.infoteria.com/jp/warp/spec/>

■製品構成

- ・ ASTERIA WARP 4.9 Standard Edition : 480 万円

基本的なデータ連携機能を網羅した標準的な製品

- ・ ASTERIA WARP 4.9 Enterprise Edition : 600 万円

Standard Edition に加え、全社規模のデータ連携を視野に入れた大規模連携基盤に必要な機能を搭載した上位エディション

■3ヶ国語に対応

日本語、英語、中国語に対応しており、多国籍開発チームでの開発が可能

以上